

春の予防を開始しましょう！！

通年予防される方もいらっしゃいます。予防は4月から12月まで必要です。

予防の意味

4月から12月が予防の季節です。

予防の種類には、大きく2つあります。

1、感染症の予防

毎年のワクチン接種、フィラリア・ノミ・ダニなどの寄生虫の予防が必要です。

2、成人病の予防

人の成人病と同じようにわんちゃんも老犬になるにつれてなりやすい病気があります。

心臓病、腎臓病、肝臓病、糖尿病、甲状腺機能低下症などの予防が重要です。

(特に心臓病、腎臓病、糖尿病は、犬にとっても多い病気です。)

定期的な健康診断、食事の見直し、サプリメントなどの投薬などが必要な場合がございます。また、去勢・避妊手術も成人病の予防方法の一つです。

これらの予防を疎かにするとその子の寿命や健康寿命が短くなります。

後悔をしない為に予防はしっかりと行って頂きたいと思えます。

当院では、予防は飼い主さんの義務だと考えております。

0. 予防の手順

1. 身体状態の確認

↓ 問診、視診、触診、聴診等により健康状態のチェック

2. 血液検査

↓ フィラリアの検査、健康診断(成人病の早期発見のため)

3. 予防薬のお渡し

☆フィラリアの検査は、約10～15分で結果が出ます。

☆血液検査は外注検査です。検査結果報告は1～2週間後となります。(郵送)

☆くわしい成人病検査は追加検査となります。(エコー、レントゲンなど)

1. 予防医療① フィラリアの予防

フィラリア症とは、蚊から虫(フィラリア)が感染し心臓に寄生することを言います。

予防しないと多臓器機能不全、もしくは死亡する怖い感染症です。

フィラリア予防は、わんちゃんには絶対必要(MUST)です。室内犬も予防は必要です。

当院でも未だにフィラリアの感染が確認されるわんちゃんがあります。製薬会社の調査では、三重県はフィラリア感染率が高い県です。

【予防期間】

4月初旬から11月下旬・12月初旬まで

蚊の活動期間は、温暖化の影響で延びています。

中には冬の間も通年予防される方も増えてきています。

【予防薬】 その子に合うタイプから選べます

1. 内服 : 粉薬、錠剤、ジャーキータイプ(ビーフ味とチキン味)の薬があります。

2. 塗り薬 : 首筋に塗る薬です。ノミも同時に予防します。

3. 注射薬 ; 1年間効果があります。(予防忘れがなくなるのでオススメ！)
4. 内服(合剤); フィラリア、ノミ、ダニが一度で予防できます。ジャーキータイプです。
最近一番人気の予防薬です。
それぞれ特徴がありますのでご相談ください。

2. 予防医療② ノミ・ダニ予防

ノミ・ダニは、草むら・公園・河川敷・山だけでなくご自宅の庭でも感染します。

ノミは、皮フ炎・瓜実条虫症・貧血などの原因です。

ダニは、皮膚病・バベシア症(貧血)・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)などの原因です。

☆重症熱性血小板減少症候群(SFTS)について

ヒトがSFTSウイルスに感染すると6日~2週間の潜伏期を経て、発熱、消化器症状(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)が多く症例で認められ、その他頭痛、筋肉痛、意識障害や失語などの神経症状、リンパ節腫脹、皮下出血や下血等の出血症状などを起こします。

現在 三重県におけるヒトの感染例が12症例報告されています。(国立感染症研究所報告 2020年1月30日報告)

犬からヒトへの感染の可能性も報告されています。(イヌの症例を調べると飼い主もSFTSに感染していることがわかりました。咬傷はないのでおそらく唾液、体液、尿、便などとの接触によると思われます)。今現在、このウイルスに対するワクチンも確立された治療法も存在していません。そして三重県はマダニの生息数が多い県です！従って、犬の予防が犬やヒトの身を守る一番の方法だと言われています。

わんちゃんを予防する事は、“飼い主さんを守る！”意味があるのです。



犬猫からヒトへの感染の事例：

【予防期間】

4月初旬から11月下旬・12月初旬まで

ノミ・ダニの活動期間は、温暖化の影響で延びています。

中には冬の間も通年予防される方も増えてきています。

(当院でも2月14日にダニを付けたわんちゃんが来院されています。)

【予防薬】

1. 塗り薬 ; 首筋に塗る薬です。
2. 内服(合剤); フィラリア、ノミ、ダニが一度で予防できます。ジャーキータイプです。
最近一番人気の予防薬です。
3. 内服 ; ジャーキータイプで3か月予防効果があります。
それぞれ特徴がありますのでご相談ください。

3. 健康診断の意義

自分のわんちゃんが本当に健康な状態であるか？または未病の状態であるか？

外見だけでは分かりません。実際、飼い主さんは健康であるか否かを食欲だけで判断している場合が多く見受けられます。食欲が無くなったときは、病気がかなり進行した状態です。この病態からの回復には時間がかかります。このような状況を回避する為に定期的な健康診断は必要不可欠です。定期的検診より、健康であることを確認するだけでなく、隠れた病気や未病の状態を把握し、早期に介入治療をする事で健康寿命を延ばし

ます。

うちの猫のしじみちゃんは、4歳の時に腎不全を発症しました。半年の闘病後、5歳になったばかりで亡くなりました。諸事情により毎年行っていた定期健診が出来ず、病気の発見が遅れてしまいました。今でも、私は非常に後悔しております。

わんちゃん(6才のチワワちゃん)が急性心不全で亡くなりました。僧帽弁閉鎖不全症でしたが、くわしい検査で確定診断と治療を早期に開始していたらこのような事にはならなかったと思います。

成人病を健康診断にて早期に発見し、早期医療を行えば、健康寿命の延長が出来ます。

健康寿命を延ばすには、

- 1: 定期的な健康診断(健康な場合は年1回)
- 2: 病気の早期発見と早期治療介入
- 3: 予防の充実

この春に狂犬病の予防注射、フィラリア・ノミ・ダニ予防が開始されます。その際はぜひ健康診断も行ってください。健康診断は、身体検査、血液検査を基本としております。更に追加検査が必要な場合は獣医師がその都度判断しお伝えいたします。

尚、健康診断は秋にも行っております。この春に機会を逃された方は秋にお願いいたします。

4. トリミングについて

当院で現在トリミングを行っております。治療の一環としてトリミング(薬浴)を行っております。

トリミングの際、事前に健康状態及び皮膚状態を把握し、その子の体調・皮膚の状態に合ったトリミングを行います。獣医師や看護師による健康チェックがあるため病気の早期発見につながります。病気の早期発見に努め、早期治療を行い、健康寿命を延ばします。

こんな子におすすめ

- 皮膚の状態が悪い子
- 高年齢や持病がある子
- 嫌がるため複数人のスタッフを必要とする子
- 一般的トリミングもご利用頂けます。

(なお、現在全身カットは行っておりません。)

シャンプー・コンディショナーは、皮膚の状態に適合したものを使用します。

5. お知らせ

詳しくは、当院までお気軽にご相談ください

予防薬のまとめ買いは割引き・特典があります！

予防のため毎月の来院される場合は健康チェック！

この機会に LINE をぜひご登録ください。

お得なお知らせなどを配信いたします。(配信専用のためやりとりはできません。)

